

自主・自立の精神と豊かな心をもった 心身共に健康な児童の育成

目指す児童像：明るく元気でがんばる子ども 進んで学びよく考える子ども 心豊かで思いやりのある子ども

児童・地域の実態

令和6年度 学校経営計画

学校全体（教職員 子ども 家庭 地域）で目標を共有

重点課題：学習意欲の向上 情報活用能力の育成 社会と関わり未来を目指すキャリア教育の充実

【元氣】

明るく元気でがんばる子ども

- ・定期健康診断の結果をもとに、保健指導及び健康教育を行う。
- ・「できた」「がんばった」を実感させる授業づくりを行うことで自信を育て、運動の楽しさや達成感を味わわせる。
- ・体育的行事を計画的に実施し、楽しんで運動をするきっかけづくりを工夫し、運動量や運動機会の確保を目指す。
- ・給食指導を通じて、正しい食事マナーを身に付けさせる。
- ・被害場面を想定した実践的な避難訓練を計画的に実施する。また、大規模な地震を想定した児童引渡し訓練を実施する。

【やる気】

進んで学びよく考える子ども

- ・「宇都宮モデル」（はっきり・じっくり・すっきり）を意識した授業づくりをする。
- ・安心して考えを伝え合い、互いに高め合う学級集団を育成する。
- ・ICT 機器を授業で活用したり、一人一台端末を効果的に活用したりする。
- ・特別支援教育の視点を取り入れ児童の実態に即した学習を展開する。
- ・各教科の学習内容を相互に関連させながら、総合的な学習の時間の探究課題や特別活動などにおける課題解決に取り組めるように学習を展開する。

【思いやり】

心豊かで思いやりのある子ども

- ・自信や自己有用感の向上を図るため、認め、褒め、励ます指導を行う。
- ・不登校を生まないための「チーム支援」の充実を図る。
- ・一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、多様な学びの場を提供する。
- ・いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場を設定する。
- ・主体的に判断しインターネットを適切に使用できるよう指導・支援の充実を図る。
- ・教育活動全体を通じた「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実を図る。

「雀央スタンダード」を全校で共有・活用する

学校研究課題：分かる楽しさを味わい、主体的に学ぶ児童の育成
～ ICT 機器を効果的に活用した授業づくり ～

特色ある学校づくり：地域と連携した WE LOVE 雀宮（雀央サミット）
地域の教育資源を活用した学習の展開

【教職員の協働性の構築】

- ◇実践や研修による授業力向上
- ◇教職員の連携（チーム雀央小）
- ◇働き方改革の推進

【家庭・地域との連携・協働】

- ◇PTA・地域協議会等との連携
- ◇ボランティア活動の充実
- ◇家庭・地域との情報共有

【教育環境の整備】

- ◇安心安全な学校
- ◇教材教具の充実
- ◇予算の有効活用

教育課程



- 目指す児童像にせまるための教育活動を全職員で展開
- 年間行事や指導内容を俯瞰し 効果を高める活動の計画・実施
- 全職員の共通理解に基づいた共通実践：チーム雀央
- 各種調査による客観評価とPDCAによる改善